

競技注意事項

1. 本競技会は、2023年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会要領により実施する。

2. 競技場使用について注意

- (1) 女子の更衣は管理棟内更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。利用は短時間とし、利用人数制限を守ること。男子更衣室は準備しない。またシャワーは使用できない。
- (2) 練習は補助グラウンドを使用すること。
- (3) 競走競技においてフィニッシュした後は、第2・第3・第4コーナーをまわってスタート地点に戻るか、メインスタンド東側の階段を上り、メインスタンド外側通路を使用すること。
(※大会本部のある正面スタンド前は通行しないこと)

3. 競技者招集

(1) 招集時間は下記のとおりとする。

① トラック競技

1次招集	招集所にて	競技開始時刻50分前開始、30分前に完了
2次招集	スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

② フィールド競技

1次招集	招集所にて	競技開始時刻1時間10分前開始、50分前に完了
2次招集	競技場所にて	競技開始時刻30分前に完了

③ リレー競技

オーダー提出締切	招集所にて	1組の1次招集完了時刻60分前に完了
1次招集	招集所にて	競技開始時刻50分前開始、30分前に完了
2次招集	それぞれの走者スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

(2) 招集場所及び方法は次のとおり。

① 1次招集は、招集所(競技本部上の園路沿いスペース)で行う。

- ア. 提示されたリストの自分の番号に○をつける。
- イ. トラック競技は「腰ナンバー標識」をとる。
- ウ. アスリートビブスの点検は2次招集(現地)で受けるのでまずは自分で確認しておく。
- エ. ア～ウが完了したら、各自で競技場所(現地)へ移動する。

② 2次招集は、競技場所(現地)で行う。(競技箇所図を参照)

- カ. 代理人は認めない。
- キ. 競技役員の指示に従って、最終コール及びアスリートビブスの点検を受ける。
- ク. 2次招集完了時刻に現地にはいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。

(3) 欠場者は、競技者係に1次招集完了10分前までに欠場届を提出すること。代理人による提出も認める。欠場届は招集所で受け取ること。

4. 用器具について

- (1) 「ボール」と「やり」は私物の使用を認める。ただし、「やり」は競技開始1時間30分前～1時間前に用器具庫(大会本部のある正面スタンド内)にて検査を受けること。「ボール」は跳躍場で競技役員から競技開始前に検査を受けること。
- (2) ジャベリックボールは主催者が準備したものを使用する。

5. 競技について

全 般

- (1) トラック競技の組及びレーン順はプログラム記載の通りとする。
- (2) アスリートビブスは胸背部に四隅を固定し着用すること。付ける。
ただし、跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでもよい。
(アスリートビブスを着用していない競技者は出場できない。)
- (3) トラック競技とフィールド競技にまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨申し出てトラック競技を優先して出場することを原則とする。

トラック競技

- (4) トラック競技に出場する競技者は、配付された「腰ナンバー標識」を右腰やや後方に貼り付けること。
- (5) 小学生大会のトラック競技のスタートにおける失格については、同じ競技者が2回不正スタートした時、

その競技者を失格とする。

- (6) リレーに出場するチームのユニフォームは同色系で参加しなければならない。
- (7) 本競技会における決勝については、以下のとおりとする。
200m以下の競技は予選を行い、タイムレースにより上位8名(8チーム)以内で決勝を行う、
なお、決勝ボーダーライン上で0.01秒単位で同記録があった場合、0.001秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合は抽選とする。
200mを超える競走種目はタイムレース決勝とする。
決勝出場者は予選終了後、速やかに通告・発表するので、決勝出場の準備をしておくこと。また、招集場にて点呼を必ず受けること。
- (8) セパレートレーンを使用する競走種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (9) リレー競走で使用するマーカー(5cm×40cm以内の粘着テープ)は出場チームで準備すること。使用したマーカーはレース後に当該チームにおいて必ず取り除くこと。

フィールド競技

- (10) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
投てき種目の練習会場は、競技開始予定時刻30分前から競技場内投てきピットを開放する。
- (11) フィールド種目の試技は、全員3回行い、ベスト8位によってさらに3回の試技を行う。
- (12) 小学生大会の走高跳は危険防止のため背面跳及びベリーロールは禁止する。
(マットへの着地は足の裏からとし、背、腰等からの着地は無効試技とする。)
- (13) 棒高跳のバーの最初の高さは(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
また、バーの上げ方も、5cm以上で(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
- (14) 走高跳のバーの最初の高さは(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
また、バーの上げ方も、2cm以上で(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
- (15) ジャベリックボール投げはやり投げピットを使用し、助走は15m以内とする。

シューズについて

- (16) スパイクは使用してもよい。
スパイクピンの長さは、トラック種目、走幅跳、三段跳は9mm以内、走高跳やり投は12mm以内の平行ピンを使用すること。
※全天候型トラックでも使用できるとされている鋭利なピン付きスパイク(ニードルピン)は使用できない。
※素足での競技は禁止する。
- (17) 本競技会では、ワールドアスレティックス(WA)承認シューズリストのシューズを着用していることを前提としているため、招集所や競技者受付などで、参加者全員のシューズチェックは行わない。
ただし、「審判長」の権限により、いつでもシューズをチェックすることができ、参加者はその指示に従わなければならない。明らかに規則違反のシューズや疑義のあるシューズは、チェックや回収の対象になることがある。万が一レース後に違反が認められた場合には、失格となり記録が取り消される場合がある。
- (18) 靴底の厚さは、以下の通りである。(規定外であることをレース前に確認した場合は出場を認めない)

○ トラック種目

800m未満	20mm以内
800m以上	25mm以内

○ フィールド種目

跳躍種目(三段跳除く)	20mm以内
三段跳	25mm以内
全ての投擲種目	20mm以内

6. 記録の発表について

- (1) 記録の掲示は園路沿いフェンスにに掲示する

7. その他

- (1) 競技中の障害・疾病については応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。
(傷害保険の範囲内にて対応とする)
- (2) 競技場周辺の清掃に留意し、ゴミは各自で全て持ち帰ること。
- (3) 競技場の用器具、機器等を破損等した場合は、大会総務に必ず申し出ること。